

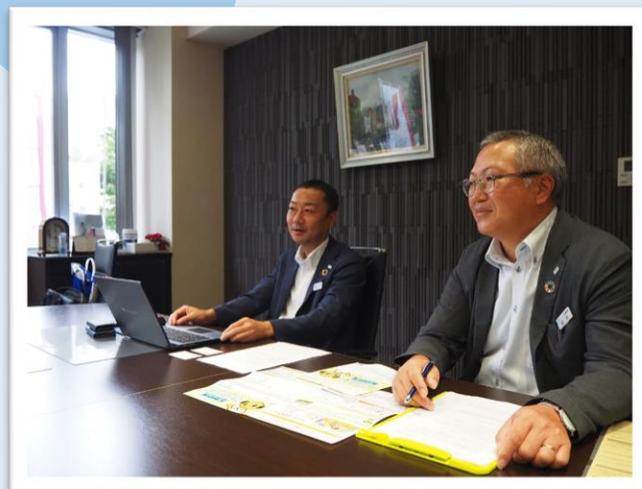
賃貸管理会社の目線 を持った保険株式会社



羽根田 尊徳様
一誠商事株式会社
賃貸管理部 部長

決め手は「人対人のコミュニケーション」、 事故は待って欲しくない

2022年9月で一誠商事は創業50周年を迎えました。1972年9月の創業以来、お客様をはじめ数多くの方々との長年の絆に支えられており、一貫して大事にしてきた事が「人対人のコミュニケーション」です。日本厚生共済会（東京海上ミレア少額短期保険の前身会社）の時代にアプローチを受けてから今日まで営業担当者さんからのサポートは迅速かつ丁寧だと社内でも評判になっています。特に事故発生時の入居者様や家主様とのコミュニケーションに関しては高い品質が求められます。保険適用の有無だけでなく、レスポンスのタイミングや早さなど「ストレス無く対応を進められる」という点がご案内する保険会社を選ぶ上で重要なポイントです。他の保険会社から新たなスキームや商品といった利便性の観点から営業を受ける事もありますが、長年両社で培ってきた「人対人のコミュニケーション」への信用に替える事は出来ません。



▲取材にお応え頂いた羽根田様（左）と
賃貸管理部・副部長の宮本様（右）

賃貸管理業界に特化した商品・代理店業務設計 ～「こうだと助かる！」を実現～

賃貸管理会社にとって「オーナー様の“もしも”を支える」ことは非常に重要な業務の一つです。ミレア・ウエストさんは入居者様がお亡くなりになった際に借戸室が損害を受けた際の清掃・消臭・修理費用保障や遺品の整理費用保障を賃貸管理業界で先駆けて商品化し、入居者様が加入する家財保険に特約として自動付帯する形でサービス提供をしてくださいました。また、保障するだけでなく実際に保険金を請求する際も「ご遺族や相続人の方がいない場合や相続放棄された場合にオーナー様からの保険金請求を可能とする」特約を用意するなど「賃貸管理会社やオーナー様がどんな事で困るのか？どうすればより良いサービスになるのか？」という点が考えられていると思います。弊社ではこうした目線を持った保険会社をお奨めする事が巡り巡って「オーナー様の“もしも”を支える」ことに繋がっていると感じます。SMSによる保険募集スキームの導入や電子入居申込会社との保険申込情報連携など賃貸管理業界における業務効率化を手助けしてくれる保険募集業務の構築も進めてきています。これからも新たな保険商品・スキームにおける時代の先駆けとなる保険会社となってくれる事を期待しています。



【取材にご協力頂いた代理店さん】

一誠商事株式会社

(茨城県つくば市)



不動産一筋で創業50年を迎えます。2022年9月現在の管理戸数は約23,500戸で管理受託しているオーナー様は約3,350名に上り、北関東トップクラスの規模を誇ります。貸主様・買主様・借主様に喜びを与えられるように分業専任体制を構築し、顧客満足度・従業員満足度・売上ともにNo.1を目指し、社員総勢321名で日々業務に励んでいます。また今年7月には新部門「アグリ事業部」を新設し農業分野へ参入、「食」の分野においても地域社会貢献に邁進します。

